



2025年4月10日

各位

会社名 株式会社 マックハウス
代表者名 代表取締役社長 石野 孝司
(コード番号 7603 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部長 小林 大介
(TEL. 03-3316-1911)

特別損失（減損損失）の計上、及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月期通期決算におきまして、下記のとおり特別損失（減損損失）の計上とともに、最近の業績動向等を踏まえ、2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

2025年2月期第4四半期会計期間（2024年12月1日～2025年2月28日）において、収益性が悪化していると認識した店舗、共有資産に関して、減損損失として105百万円を計上いたしました。以上により、2025年2月期として、210百万円の特別損失を計上いたしました。

2. 通期業績予想の修正について

（1）2025年2月期通期業績予想の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	13,500	△890	△850	△1,070	△69円20銭
今回修正予想（B）	13,119	△1,213	△1,161	△1,472	△95円25銭
増減額（B－A）	△381	△323	△311	△402	－
増減率（％）	△2.8	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2024年2月期通期）	15,409	△910	△854	△1,151	△74円46銭

（金額の単位：百万円）

（2）修正の理由

気温や気候の変動に対応した品揃えの見直しや売上の柱となるコアアイテムの開発など、業績の向上に取り組んでまいりましたが、第3四半期における秋物商品の立ち上がりの遅れ、第4四半期における春物の売上が伸びなかったことにより、第4四半期累計期間における販売実績は、既存店売上前年比95.1%、既存店客数前年比95.5%、既存店客単価前年比99.6%となりました。これらの結果、通期の売上高につきましては業績予想を下回る見込みです。

利益面に関しては、販売費及び一般管理費の削減に取り組みましたが、今期秋物商品及び冬物持ち越し商品の消化促進に伴う売価変更が増加したことにより粗利率が低下し、営業利益、経常利益、当期純利益は業績予想を下回る見込みです。

（注）この資料に記載されている業績等の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上